

長野工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	日本史	
科目基礎情報							
科目番号	0002			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：『詳説日本史B』（山川出版社）/副教材：『最新日本史図表』（第一学習社）						
担当教員	二星 潤						
到達目標							
授業の内容と教科書や副教材の情報を関連づけて理解できること。日本史の基本的な知識を理解していること。これらにより、学習・教育目標の（A-1）の達成とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本の歴史の展開を諸資料に基づき、総合的に考察することにより、歴史的思考力を培う。						
授業の進め方・方法	・ 授業方法は講義を中心とする。 ・ 適宜、課題を課すので、期限に遅れず提出すること。						
注意点	<成績評価> 前期・後期とも、理解度チェック（40%）・期末試験（40%）、平常点（20%）で（A-1）を評価し、6割以上の得点で合格とする。平常点は、課題レポート等によって評価する。 <オフィスアワー> 木曜日 16:00 ～ 17:00、管理・一般科棟3F西 二星潤教員室 <先修科目・後修科目> 先修科目は世界史、後修科目は現代社会となる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	古代①縄文文化と弥生文化		縄文文化・弥生文化の社会を理解する。		
		2週	古代②古墳とヤマト政権		古墳の変容からヤマト政権の成立をとらえる。		
		3週	古代③飛鳥の朝廷		朝廷の政権運営や大陸との交流を知る。		
		4週	古代④平城京の時代		律令に基づく統治体制を理解する。		
		5週	古代⑤平安朝廷		律令による統治体制の変質を考察する。		
		6週	古代⑥摂関政治		摂関政治の成立過程とその影響を理解する。		
		7週	古代⑦武士の成長		武士の成長と進出過程についておさえる。		
		8週	理解度チェック		7週目までの内容の理解度の確認を行う。		
	2ndQ	9週	中世①院政と平氏		院政と平氏政権の特性を知る。		
		10週	中世②鎌倉幕府		鎌倉幕府の成長過程を理解する。		
		11週	中世③蒙古襲来		蒙古襲来が日本社会に与えた影響を理解する。		
		12週	中世④室町幕府		室町幕府の機構の確立について知る。		
		13週	中世⑤戦国大名		戦国期の日本の多様性を考察する。		
		14週	中世⑥中世の文化		中世の文化の特徴を理解する。		
		15週	近世①織豊政権		織豊政権の政策の特色を理解する。		
		16週	期末試験				
後期	3rdQ	1週	近世②幕藩体制の成立		幕藩体制の構造を多角的に考察する。		
		2週	近世③鎖国		鎖国までの過程とその影響を理解する。		
		3週	近世④経済の発展		諸産業の展開や社会的役割を理解する。		
		4週	近世⑤元禄文化		経済の発展と町人文化の形成の関連をとらえる。		
		5週	近世⑥幕藩体制の動揺		幕府や諸藩が行った改革の意義を考察する。		
		6週	近世⑦江戸後期の文化		文化における近代化の芽生えを考察する。		
		7週	近代①開国と幕末の動乱		国際環境の変化と開国までの過程を理解する。		
		8週	理解度チェック		7週目までの内容の理解度の確認を行う。		
	4thQ	9週	近代②明治維新		明治政府が中央集権体制を構築する過程を考察する。		
		10週	近代③立憲国家の成立		近代国家の基盤が形成されていく過程を理解する。		
		11週	近代④日清・日露戦争		戦争に至る経緯や経過、影響を知る。		
		12週	近代⑤近代産業の発展		産業革命や近代産業の発展を理解する。		
		13週	近代⑥近代の文化		近代文化の特色について理解する。		
		14週	近代⑦15年戦争		戦争が日本社会に及ぼした影響について考察する。		
		15週	近代⑧高度経済成長		経済の国際化と技術革新を理解する。		
		16週	学年末試験				
評価割合							
	試験	小テスト	平常点	レポート	その他	合計	
総合評価割合	80	0	20	0	0	100	
配点	80	0	20	0	0	100	